

2012年7月26日

ボールとの接触時間を長くし（約7%）、喰いつきでボールをコントロールする ソフトテニスラケット「ディープインパクト」シリーズ発売

ミズノでは、ボールとの接触時間を長くすることでボールコントロールをしやすくしたソフトテニスラケット「Deep Impact（ディープインパクト）」シリーズを9月10日から全国のミズノ品取り扱い店で発売します。

ソフトテニスは、2004年のルール改正（※1）以来、試合展開のスピード化、ショットの多彩化が進み、様々なラケットのタイプが求められるようになりました。

今回発売するラケットは、特に、正確にボールをコントロールし試合を組み立てることを求めるプレーヤーへ向けて、ボールの接するストリングのマス目を大きく、また新しくフレーム設計することで、ボールがラケット面に喰いつくようにしました。これにより従来品（※2）よりボールとの接触時間が約7%長くなり、ボールのコントロール性が向上しました。

なお、プレーヤーの技術・レベルにあわせて「コントロール性」と「飛び」のバランスを調整したモデルを10月以降順次発売していきます。

※1【2004年ルール改正について】

改訂前はレシーバーのみがコートの中に入ることができ、それ以外の選手はサービスが打たれた後でないとコートの中には入れませんでした。新ルールでは、前衛後衛関係なく最初からコートの中に入ることが出来るようになりました。またボール150cmの高さから落とした際のバウンドが65cm～80cmから70cm～80cmに変更になり、下限が高くなりました。

※2「Xyst X（ジスト X）」との比較

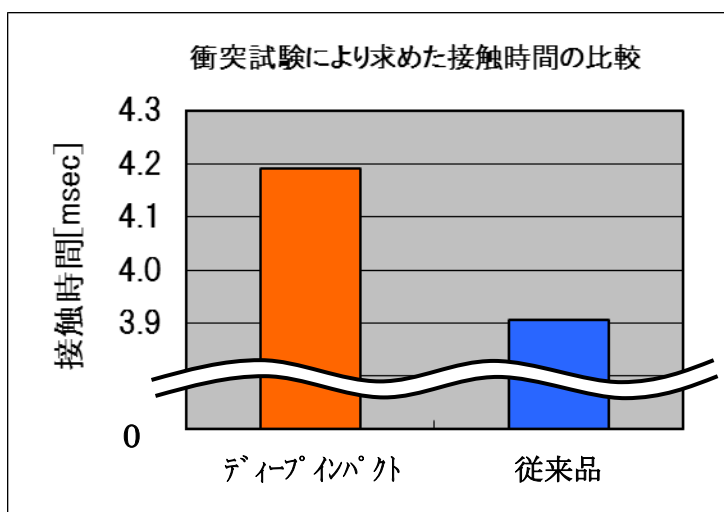


ソフトテニスラケット「ディープインパクト Tコンプ」¥24,150（消費税込み）

「ディープインパクト」の特長

ボールがラケット面に接触する時間が約7%長くなることで、ボールをコントロールしやすく、ゲームの組み立てが広がるラケットです。

【ボール衝突実験】



ボール接触 3.8 ミリ秒後の比較画像

(ミズノ開発部資料)

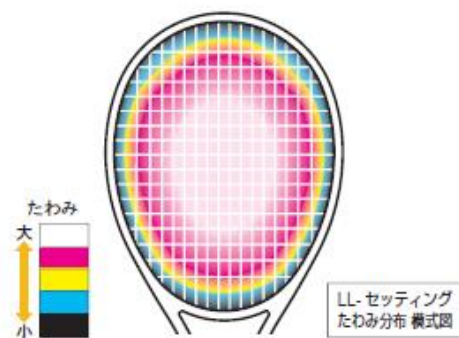
※ディープインパクトの方が離れた距離が小さい

- 1) スtringのマス目を大きく、たわませることでボールを包み込む

従来よりストリングのマス目より大きくすることで、ボールを捕らえた際のたわみが大きくなる「LL-セッティング」を採用しています。

(右図参照：中央部分がたわみが大きい)

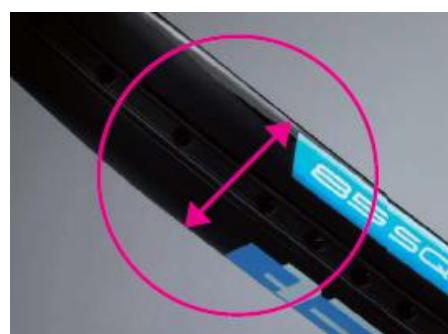
これによりストリングがボールを包み込み、接触時間が長くなります。



2) フレームの厚さをコントロールし安定性向上

打球時にゆがみが生じやすい打球面下部を厚くする「ビルドアップフレーム」設計によりフレームの安定性を高めました。

これによりボールが当たった際の衝撃力が、よりストリングのたわみに集中します。



フレーム部分拡大

記

商品名：ソフトテニスラケット「Deep Impact (ディープインパクト)」

発売日：2012年9月10日

価格：¥24,150 (本体¥23,000)

※記載価格は消費税込みの金額です。()内は消費税抜き本体価格です。

カラー：アイスブルー

素材：グラファイト、グラス

原産国：中国

販売目標数：シリーズ合計 30,000本 (発売から1年間)

タイプ	「ディープインパクト コンフ」	「ディープインパクト Zコンフ」	「ディープインパクト Sコンフ」
対象	ネットプレーヤー向け	ストロークプレーヤー向け	ストロークプレーヤー向け
サイズ	1U, 2S	OU, OS	OU, OS
全長	685mm	690mm (5mmロング)	690mm (5mmロング)
重さ	(平均) 238g (1U) (平均) 253g (2S)	(平均) 238g (OU) (平均) 253g (OS)	(平均) 238g (OU) (平均) 253g (OS)
バランス	(平均) 270mm	(平均) 290mm	(平均) 300mm

(マスコミのお問合せ先)

東京広報課 澤井・木水 TEL: 03-3233-7037
大阪広報課 高橋・成清・植田 TEL: 06-6614-8373

(ユーザーのお問合せ先)

ミズノお客様相談センター  0120-320-799
ミズノ・ソフトテニス情報は—<http://www.mizuno.jp/softtennis/>